D-1 体感!ペットボトルの3R と地球温暖化

～ペットボトル工作で遊ぼう～

講義担当：特定非営利活動法人かながわ環境カウンセラー協議会

講座対象者	■小学校低学年　■小学校中学年　■小学校高学年 ■放課後施設利用児童　□中学生　□高校生　□大学生　■地域一般		
授業活用例	小学校総合学習の時間、小学校高学年社会科		
関連のある SDGsのゴール	11、12、13、14、15	オンライン授業	□可　■不可
対応可能曜日	■平日　■休日　□その他（　　曜日）		
対応時間	9時～16時		
年間実施上限数	6		
講座実施方法 ※（　）は場所等	■講義（　パソコン・プロジェクターが利用できる教室等） ■ワークショップ（教室内で、ペットボトルを使った工作とそれを使った遊び、比重分離実験。水が必要です。） □自然体験（　　）		
講座所要時間	90分（45分×2）		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクターと大形スクリーン、陳列用テーブル、マイク		

講座内容
1. 講座の目的 私たちはプラスチックを使い、使用後ごみとして捨てています。プラごみは、地球温暖化や海の汚染の原因の一つです。人体への悪影響も懸念されます。横浜市の3R 夢プランに沿って、プラごみを減らすための3R を講義とペットボトルを使った工作で理解し、日常の生活に活かしてもらう。 2. 内容 1）講座の展開 プラスチックごみがあふれている現場や苦しんでいる海の生き物を写真で知る。ゴミを減らす3Rの方法の説明と分別の例としてペットボトルに使われている3種類のプラを実験で分ける。 飲料メーカー・コンビニがペットボトルリサイクルに努力していることを伝える。 ペットボトルを使って、2 つの工作を体験する。（浮沈子とミニ空気砲）。最後に、工作物を使ってみんなで工夫して遊ぶ。 2）講座のおすすめポイント：　座学に加え、クイズ、実験や工作体験を通して、気づきを得る。 3）学びのポイント ①海に流れ込んだプラスチックが、生き物を苦しめたりすることを知る。 ②プラスチックを分離する実験を通して、水に浮くものと沈むもので分けられることを学ぶ。 ③プラスチックを燃やす CO2 が発生し、地球温暖化につながることを学ぶ。 ④使いおわったペットボトルをリユースして、工作物で楽しく遊べることを、体感する。

問合せ先：かながわ環境カウンセラー協議会 大竹 順之　TEL：090-5781-5125
メールアドレス：otakem65@keb.biglobe.ne.jp